

# 柿 特報 No.1

H30.3.23

J A 中野市営農センター

J A 中野市柿研究会

## 定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

気象庁の長期予報では高温が予報されており、果樹類全般で、生育が昨年よりも7日程度早く進むと見込まれます。病虫害の防除は予防を意識し、早め早めの散布を実施しましょう。

### 病虫害防除

#### ◎3月下旬～4月上旬（4月10日頃まで）の薬剤散布

●隣接する園地や収穫前や収穫中の作物に飛散しないよう、十分注意する。

散布薬剤	水 展着剤 石灰硫黄合剤	90ℓ 10ml 10ℓ（発芽前）	散布日 月 日 散布量 ℓ
対象病虫害	カイガラムシ類、（黒星病）		
散布量	10a 当り 300ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。		
注意事項	①石灰硫黄合剤は隣接するビニールハウスにかからないようにする。 ②カイガラムシ類の発生が多い場合はスプレーオイル50倍（発芽前）を加用する。		

#### 《注意事項》

- 薬剤散布は散布ムラのないよう丁寧に実施する。
- 越冬病虫害（ハムシ・カイガラムシ類など）の密度低下のため、粗皮削りを実施する。
- 根元は常に除草し、コウモリガによる食入加害を予防する。

#### 防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう

例年カイガラムシ類が多発する園地がありましたら担当技術員にご相談ください。